提言

「海外で働く」ということ

化学兵器禁止機関（OPCW）　査察チームリーダー
藤井 雅行（平成2卒）

国際機関で働く日本人の数が年々減少しているそうです。私が現在勤務している化学兵器禁止機関（Organisation for the Prohibition of the Chemical Weapons; OPCW）でも、2007年に私が赴任した当時は9人だった日本人職員が、今では5人に減ってしまいました。

国際機関の活動費は加盟各国からの拠出金で賄われていますが、その割合は各国の国民総所得（Gross National Income; GNI）を基に、対外債務と低所得者層を考慮に入れた補正をかけて算出されます。各国際機関とも独自の計算方法を採用しているため各国の割合に違いはありますが、序列はどの国際機関もほぼ同じで日本は米国に次いで2番目に多い拠出金を支払っています。

2013年の国連予算を例に取ると、日本の拠出金割合は10.8％でした。対して国連における日本人職員の割合はというとわずか2.4％、OPCWではさらに低く何とたったの1％（拠出金の割合はほぼ同じです）と、日本の国際社会における人的貢献度が金銭的貢献度に比べて著しく低いことが分かります。このように国際機関で働く日本人が少ない理由は色々取り沙汰されていますが、主なものでは英語力不足、日本の居心地の良さ（全然頑張らずにぬるくゆるく生きていても、世界の大多数の人より上等な生活水準が保てる。そこが日本のいいところでもあるのですが……）、そして転職がキャリアアップにならない（終身雇用の文化が根強い日本独特の企業風土によるものと思われます。「中途差別」というのがあるようですね。そのため、帰国して再就職先で冷遇されるかもしれないことを考えたら、海外に居続けるしかないけれど、そこまでの自信と勇気が持てない……）ことなどが挙げられるようです。

また、最近の若者はあまり冒険をしたがらないようですね。やはり日本の居心地が良すぎるためでしょうか。でも、もったいないと思いませんか？

一度きりの人生なんですから、ちょっと外国で暮らしてみるのもいいと思いませんか？

私が33歳になってから仕事を辞めてアメリカの大学院に留学したのも、ただ単に「一生に一度くらい海外で暮らしてみるのもいいかな？」程度の思いで、学問的またキャリア的に高い志があったわけではありませんでした。また、無事に二つ目の修士号は取ったものの、海外生活を楽しむ余裕などなく、「たった2年で帰るのはもったいないな」と思い、とにかく何でもいいから海外で働ける仕事を探していて、偶然見つけたのがOPCWでした。もちろんそれまで聞いたこともありませんでした。

海外で働くに当たって、英語は必須ですが、それが全てではありません。 仕事をするにはそれに見合った専門知識が必要です。そのため、私は大学時代に英語の習得を兼ねて留学することはお勧めしません。なぜなら、日本語で教わっても時に理解に苦しむ高度な専門分野を外国語で習っても、理解できるはずがない（あるいは日本語で習ったときと同程度の理解度を得られるはずがない）からです。

英語の勉強は後からでも出来ます。大学時代に日本語でしっかりとした専門知識を身に付けてください。楽ばかりをして暮らしていけるほど、人生は甘くありません。どこかで必ず努力しなければなりません。年を取ってからでも良いですが、努力をするなら若いうちにした方が、その後の人生に対する影響は高まります。

最後に、「努力は必ず報われる」という諺の本当の意味をご紹介します。それは「努力をすれば、目指していたこと・夢が達成できる」という意味ではなく、「当初目指していたこと・夢が実現できなくても、努力したことが糧となり、その後の人生に活きてくる」ということなのです。

Profile

ふじい・まさゆき／1996年都内大学院工学研究科を修了後、京都市の化学メーカーに就職。2001年県職員としてAターン、秋田県環境センター（現秋田県健康環境センター）で研究員として勤務。その後、県職員を3年で退職、2006年渡米して米国大学院で環境科学の修士号を取得。2007年からOPCW査察チームリーダーとして米露などを飛び回る。OPCWは2013年ノーベル平和賞を受賞。

今年度においても、生徒には文武両道を実践しながら高い理想を掲げ、最後まで第一志望合格を貫き通すことができるように、職員あげて丁寧な指導を進めて参りたいと考えております。今後とも同窓会の皆様の力強いご支援・ご声援をお願い申しあげます。

前進路指導主事　伊藤成孝

大学合格状況一覧（国公立管外、私立大のタテ計は他の大学分を含む）

国公立管外

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
北海道	9	4	13	一橋	2	0	2
弘前	6	0	6	横浜国立	2	1	3
岩手	5	1	6	新潟	22	6	28
東北	37	13	50	金沢	1	2	3
宮城教育	7	1	8	京都	0	2	2
秋田	40	25	65	大阪	0	1	1
山形	2	2	4	広島	0	1	1
筑波	2	1	3	国際教養	3	1	4
千葉	5	2	7	秋田県立	1	1	2
東京	3	6	9	首都大東京	1	1	2
お茶の水	1	1	2	防衛医科大学校	0	2	2
電気通信	3	1	4	防衛大学校	1	0	1
東京学芸	7	6	13	国公立管外計	168	94	262

私立大

大学名	現役	過卒	計
東京理科	9	22	31
明治	15	15	30
中央	13	14	27
早稲田	14	11	25
法政	9	10	19
立教	4	12	16
日本	5	10	15
芝浦工業	0	11	11
東京薬科	5	5	10
慶應義塾	5	2	7
北里	3	4	7
私立大計	168	185	353

医学部医学科

大学名	現役	過卒	計
秋田	19	12	31
東北	4	1	5
弘前	2	0	2
山形	0	2	2
広島	0	1	1
浜松医科	0	1	1
福島県立医科	0	1	1
岩手医科	0	3	3
自治医科	1	0	1
杏林	0	1	1
東京慈恵医科	0	2	2
聖マリ医科	0	1	1
医学部医学科計	26	25	51